

はつらつ体験塾 通信



令和6年度 第1回チャレンジキャンプ号 令和6年7月22日
新潟県少年自然の家

梅雨にも負けず、充実の2日間でした



7月13日(土)・14日(日)に、胎内市の新潟県少年自然の家を会場にして、第1回はつらつ体験塾チャレンジキャンプが行われました。「チャレンジキャンプ」の名前どおり、チャレンジにあふれる活動内容になりました。小・中学生25人、学生ボランティア8人、看護師1人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

7月13日(土)

13:00	13:30	13:40	14:10	14:30	15:30	17:30	18:30	19:30	21:30
受付	出会の つどい	レクリエ ーション	オリエンテ ーション	テント 設営	グラウンド ゴルフ	夕食	ナイト ハイク	お風呂 自由	就寝 (テント)

出会のレクリエーションでは、ネームプレート交換を行いました。前回のフレンドリーキャンプの出会のレクリエーションでも行いましたが、今回は、前回よりもコミュニケーションの内容や量を増やしました。同じ活動班以外の3人と交換します。最後に、今自分が持っているネームプレートの人のキャンピングネームを呼んで相手を探します。積極的に他の人と関わらなければ相手にネームプレートを返すことができません。参加者の多くが、大きな声でキャンピングネームを呼んで返すことに成功していました。終わるころには、参加者同士の仲間意識が高まったように感じました。



次に、みんなが宿泊するテントの設営を行いました。まつかさの家付近の平らな場所を探して、テントを設営しました。初めてテントを張る子もいましたが、多くの参加者が積極的にテント設営にチャレンジしていました。学生ボランティアさんの協力もあり、無事に設営することができました。テントの設営が終わると早速中に入っていました。「できたぞー。」「今から寝るのが楽しみ。」などの楽しそうな声があちらこちらから聞こえてきました。みんな協力して、テントを設営することができました。



テント設営が終わったら、グラウンドゴルフを行いました。胎内市グラウンドゴルフ連盟の方にアドバイスをいただきながら、創意工夫したオリジナルコースを活動班ごとに一つ作りました。木の根っこなどを利用した複雑なコースもあり、胎内市グラウンドゴルフ連盟の方からも「これは、難しい良いコースだなあ」という声がありました。残りの3ホールは、しばふ広場にコースを設定

して、活動班ごとにプレーしました。初めてのチャレンジだった参加者がほとんどでしたが、ホールインワンが出るなど、活動班や胎内市グラウンドゴルフ連盟の方とコミュニケーションを取りながら楽しくプレーができました。



夕食の後は、いつもオリエンテーリングで使用しているコースを利用して、ナイトハイクを行いました。コースは三つあります。引いたくじに書いてある指令のオリエンテーリングポストに活動班全員で行きます。そこに次の目的地が書かれています。三つのポストを回ったら自然の家に戻ってきます。途中のポストにあったお札をもってゴールした人には、クリアの証としてご褒美のアメが配られました。最初は怖がっていた参加者も、活動班の仲間と声を掛け合って、全員が無事にゴールしました。



7月14日(日)

6:00	6:30	6:45	7:30	8:00	8:50	11:30	12:50	13:05
起床	朝の つどい	テント 片付け①	朝食	テント 片付け②	野外炊さん	昼食 片付け	ふり回り	別れの つどい

2日目には、野外炊さんをしました。今回はカレーライスを作りました。

活動班を調理係とかま場係に分けました。調理係は、鍋や調理道具を準備するところから始めて、お米を研いだり、野菜を切ったりしました。カレー鍋、炊飯用の鍋の準備ができれば、少年自然の家恒例の「クレンザーパック」をします。かま場係は、松葉や薪を持ってきて、調理係が仕上げた鍋を火にかけられるように準備します。どの活動班もこれまで以上にコミュニケーションを取りながら、短時間でカレーライスを作ることができました。おいしくカレーライスを食べた後の片付けについても、手際よくきれいにできました。



悪天候が懸念された週末でしたが、無事にすべての活動を行うことができました。そして何より、看護師さんや学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回のはつらつ体験塾も大成功を収めることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：星野貴之・保坂吉彦・須田洋介